



いつもご支援、ありがとうございます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、いろいろな活動が制限されましたが、1月から12月までに延べ600件のご寄付をいただきました。

おひとりおひとりの温かなお気持ちがとてもうれしく、感謝申し上げます。振込用紙にご記入いただいたメッセージには、小児がんの子どもたちへの温かな想いが綴られています。厳しい治療に耐えている子どもたちにきっと届いていると思います。

寄付

<マンスリーサポーター>

毎月のクレジットカードやゆうちょ銀行引き落としで、ご支援くださっている方は、24人に増えました。

<ライオンズクラブ様>



昨年に引き続き、チャリティーゴルフや講演会などを通じて、ご支援をいただいております。

<東海高校保護者様>

サタデープログラム、サマーセミナーなどの取り組みを通じて、毎年ご支援いただいております。

<バーニーな夜（小串利和様）>

ライブ継続が大変な状況下でも毎月のチャリティーライブでのご寄付をいただいております。熱い想いが観客の方々を動かしているのだと思います。



<樋口宗孝がん研究基金様>

肝細胞がんで亡くなったLOUDNESSのドラマー樋口宗孝氏の名前にちなんだ基金から助成金をいただきました。この基金は、チャリティーライブを通じて寄付金を集め、小児がんの研究とAYA世代を支援しています。

<名古屋キワニスクラブ様>



昨年に引き続き、助成金をいただき、ベトナム・フエ中央病院小児センターへ、白血病遺伝子検査キットを送ることが

できました。
造血幹細胞移植が成功し、元気になった子どもです。
(写真右)



実施事業

貴重な寄付金で、以下のような成果をあげることができております。

(1) 小児がん患者における新規診断法や治療法の開発



名古屋大学小児科での次世代シークエンサーを用いた遺伝子診断を支援し、患者ご家族の負担を軽減することができました。

CAR-T療法の臨床研究も進み、3人の患者さんに重篤な副作用なく投与されました。

(2) 患者・患者家族への経済的支援

保険適応がない薬剤を必要とする患者さんへの薬剤費用を支援しました。

(3) アジアの発展途上国における小児がんに関わる医療従事者や患者への支援

遺伝子診断ができないイラクの病院からの要請に応え、次世代シークエンサーによる遺伝子解析を行っています。

タイの大学病院に無償で提供したCAR-T療法の技術が、すでに現地で生かされているという報告も届いています。